

成果の説明書

(氏名) 飯島明宏	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 ● 次世代プロテインとしての食用コオロギの社会実装に向けた諸課題の検討 食用昆虫生産をハブとした、新しい農業システム、資源・エネルギー循環、フードサービスの融合と、それらの社会実装に必要な枠組みについて探究し、食と環境をめぐる諸課題の解決に貢献することを目的に、以下の枠組みで研究を行った。 ➤ 東京農業大学と共同で「昆虫食品研究開発クロステックコンソーシアム：NeoAxis」を立ち上げ、生産技術にかかる情報共有と課題解決のための情報発信の場を設けた。 ➤ 昆虫ビジネス研究開発プラットフォーム (iBPF)、内閣府ムーンショット型農林水産研究開発事業「地球規模の食料問題の解決と人類の宇宙進出に向けた昆虫が支える循環型食料生産システムの開発」、NeoAxis の 3 機関合同で、『コオロギの食品および飼料原料としての利用における安全確保のための生産ガイドライン (コオロギ生産ガイドライン)』および『ミズアブの食品および飼料原料としての利用における安全確保のための生産ガイドライン (ミズアブ生産ガイドライン)』を策定した。 ➤ バイオインダストリー協会と共同で Food Bio Plus 研究会内に昆虫資源ワーキンググループを立ち上げた。 ➤ 主な成果は以下の通り。 (1) コオロギの食品および飼料原料としての利用における安全確保のための生産ガイドライン (コオロギ生産ガイドライン) , https://www.knsk-osaka.jp/ibpf/guideline/cricket_guideline.html (2) ミズアブの食品および飼料原料としての利用における安全確保のための生産ガイドライン (ミズアブ生産ガイドライン) , https://www.knsk-osaka.jp/ibpf/guideline/bsf_guideline.html (3) 食用昆虫×SDGs, 春日井市・グルッポ 4 周年記念事業講演会, 2022.5.5. (4) クリケットプロテインの食品への利用可能性と今後の研究開発動向, ifia Japan 注目の New プロテインの開発と応用技術, 東京, 2022.5.17. (5) 食用昆虫の産業化に向けた課題整理とコンソーシアム"NeoAxis"の活動, 農業情報学会 2022 年次大会オーガナイズドセッション, オンライン, 2022.5.22. (6) 食用・飼料用昆虫生産研究の最前線, 「食」により「人と社会と地球」の健康を創造するためのバイオ技術研究会 (仮称) 設立準備勉強会 第 4 回, オンライン, 2022.5.23. (7) 食を選ぶ心理に見る、昆虫由来プロテイン市場の可能性, 内閣府ムーンショット型農林水産研究開発事業『地球規模の食料問題の解決と人類の宇宙進出に向けた昆虫が支える循環型食料生産システムの開発』アイ・エフ・キューブ プロジェクト シンポジウム, 東京, 2022.8.8. (8) 昆虫食の普及や安全性に関する課題, フードセーフティージャパン 2022 セミナー, 東京, 2022.9.14. ● 独立行政法人都市再生機構との共同研究 「シェアリングエコノミー創出による地域活性化策の包括的評価手法の確立」と題した共同研究を開始した。初年度は、シェアリングエコノミーの社会的インパクトを可視化するための包括的評価手法の確立を目的として、シェアに対する関係心理の分解、類型化をベースに、シェアサービスへの満足度を効用値として測る多変量モデルの構築を進めた。	

2 その他の事項

● 論文発表、学会発表、招待講演、学外委員 他

- (9) 環境学習の進め方 ～関心から理解へ、理解から行動へ～，ぐんま環境学校（エコカレッジ），前橋市，2022.6.11.
- (10) 齊藤由倫，田子博，飯島明宏：自治体のごみ減量担当部署が行う環境学習関連施策，日本環境教育学会第 33 回年次大会，東京，2022.8.27.
- (11) 齊藤由倫，飯島明宏，田子博：生活系ごみ減量化のための自治体の普及啓発施策の実態調査と効果推定，第 33 回廃棄物資源循環学会研究発表会，2022.9.20.
- (12) Saito Y., Tago H., Kumagai K., Iijima A.: A closer look at effective intervention methods to reduce household solid waste generation in Japan, Sustainability, 14(22), 14835, 2022.
- (13) 環境省 PM2.5 排出インベントリ及び発生源プロファイル策定検討会 委員
- (14) 環境省 PM2.5・Ox 対策総合推進検討会 委員
- (15) 高崎市 環境審議会 委員
- (16) 高崎市 廃棄物処理施設専門委員会 委員
- (17) 高崎市 水道事業及び公共下水道事業運営審議会 委員
- (18) 藤岡市 環境審議会 委員
- (19) 群馬県 環境審議会 委員
- (20) 群馬県 ぐんま緑の県民税評価検証委員会 委員
- (21) 群馬県 環境影響評価技術審査会 委員
- (22) 日本自動車研究所 非排気粒子研究会 委員

3 次年度以降の計画・抱負

● 独立行政法人都市再生機構との共同研究

2022 年度より開始した「シェアリングエコノミー創出による地域活性化策の包括的評価手法の確立」について、一般集団およびしもたやモデルの会員を対象とした本調査を実施し、シェアリングエコノミーの創出による社会的インパクトの測定手法の有効性を実証分析する。